

走行チェックシート

日付	Sunday, July 27, 2008 (日)		時間	～	イベント	"Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race		
天気	晴れ→雨→晴れ		マシン	GSX-R1000 K8		ライダー	波多野祐樹&生形秀之&行方知基	
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	35	°C	
	コンディション	DRY→WET→DRY			気圧	1009	hpa	
	路面温度	53.8	°C	計測時間	12:00)	湿度	61
エンジン	スパークプラグ	NGK			エンジンOIL	シェルアドバンス #40		
	ファイナルレシオ	16 x 42(2.625)						
トランスミッション	1st	D		4th	C			
	2nd	C		5th	C			
	3rd	C		6th	C			
フロント	パーツ名	KYB(745mm)			TEN	-16		
	スプリング	10.125	N/m	OIL	KYB #5			
	自由長		mm	油面	190	mm		
	イニシャル	13	mm	残ストローク	-	mm		
	COMP(HI)	-5		突き出し	STDトップブリッジで2mm突き出し			
	COMP(LO)	-15						
リア	パーツ名	KYB(329mm)			TEN	-8		
	スプリング	132.4	N/m	残ストローク	-	mm		
	自由長		mm	リンク	-			
	イニシャル	9.75	mm	リンクロッド	-	mm		
	OMP(HI)	-8		車高	STD+1 ビボット-3mm スイング長586mm			
	OMP(LO)	-16						
タイヤ	フロント				リア			
	銘柄	ダンロップ			銘柄	ダンロップ		
	サイズ	125/80/16.5			サイズ	200/65/16.5		
	エア圧	2.1				1.8		
チェック	順位	8位			ベストラップ	2' 11" 561		
	水温	100	°C	油温	130	°C		
	ガソリン	IN	24	ℓ	走行距離	km		
OUT		-	ℓ	燃費	km/ℓ			

<コメント>

皆様応援ありがとうございました。
 おかげさまで総合8位！！目標としていたトップ10に入ることが出来ました。
 この成績は総合ではチームのベストリザルトです。
 それもこれもライダーの波多野君、生形君、行方君の頑張り、そのサポートしてくれたヘルパーさん、適切なアドバイスをくれた北川さん、手伝っていただいた方々、そしてスポンサーでいただいている各社様の協力と、皆様の応援おかげです。ありがとうございました。
 今年はいろいろな出来事がありました。
 事前テストでは転倒もありましたが、見た目よりもダメージは少なくその後のテストも無事出来ました。しかし生形君の走行量が思ったよりも少ない状況で、レースウィークを迎える事になってしまいました。
 サスペンションセットは300kmの延長のセットで走行しました。リアのバネレートが300kmより10N/mmUPLしました。
 コーナー中のリアの高さを出す為にレートの硬くしましたが、イニシャル量がそのままだと、初期が硬くて動かすのに反発の多いサスになってしまうので、イニシャル量を3mm程度下げ、Lo-COMPも大幅に抜いていってから掛けていく方向でアジャストしました。
 Fフォークは殆ど300kmと同仕様です。
 レースウィークに入ってからタイヤのコンパウンドを決めて、サスは少しの調整だけで走りこむ事にしましたが、予選一回目でテストから温存してきた本番用エンジンが壊れてしまい、仕方なく予選二回目はTカーで走行しました。しかし第三ライダーの一回目の予選はキャンセルしたため、行方君の走行時間がますます少なくなってしまいました。
 車体はメインカーのほうでセットを進めてきているのでエンジンを乗せ換えて決勝に望みます。といってもスペアエンジンは無かったので決勝でこのエンジンが壊れてしまったらリタイヤするしかない状況でした。テスト用として結構距離を走行しているエンジンなので8時間の長丁場に耐えられるかは非常に厳しい状況でした。
 決勝が始まり、一回目12番手くらいを走行、その後も順調に交代をして二回目の生形君のセッションに雨が…。しかも大量に…。
 ビット内は騒然とし、給油やレインタイヤを用意したりもしましたが、生形君の冷静な判断でドライタイヤのまま走行、周りが大きくタイムを落とす中、徐々に順位を上げていきました。ここで順位を上げた事が四時間後の結果につながりました。
 二回目の走行後、波多野君の腰の調子が思わしくなく、一旦休ませる為にここで行方君を投入。予選くらいのタイムで走ってもらえればと思っていたが、決勝レース中コース上が混んでいた事もあって思ったようにタイムを上げられませんでした。しかしミスなく次にバトンタッチ。
 その後も、徐々に順位を上げていって7時間経過したときには8位になってました。最後に給油だけして送り出しチェッカー！！
 正直ほっとしました。
 ライダーが戻ってきてビットの裏は大変な事に！！大騒ぎしながらもみんな嬉しそうでした。いいですね、こういうのも。
 今回は、ライダーの頑張りや皆さんの応援によって得られた結果だと思います。ありがとうございました。
 すぐに全日本後半戦が始まります。波多野君はJSB1000に、生形君と行方君はST 600クラスに戻ってそれぞれ戦っていきます。
 この勢いのまま後半戦につなげていければと思います。是非応援宜しくお願いします。

レーシングサプライ
 畑中 健太郎